

電力技術研究会 環境専門部会

環境専門部会は、公害が社会問題となっていた昭和47年に当社に係る環境問題に取り組むために設立しました。

環境専門部会の活動は、平成16年に制定したアクションプランの長期目標で掲げた「環境文化共有企業への変革」に資する研究開発分野に係る活発な議論の場として位置づけるものとし、アクションプランに沿った形で以下の項目を中心に年2回の活動を行っています。

資源・エネルギーの有効活用に関する調査・研究
環境負荷の低減技術に関する調査・研究
環境管理レベルの向上に関する調査・研究

専門委員は15名(大学関係委員4名・当社委員11名)で構成しており、今年度から新たに電力技術研究所CO₂削減技術Gおよび環境部地球環境Gの委員も加わりパワーアップしたところです。

今年度の環境専門部会は、大学関係委員からの研究成果のご紹介および当社委員からの報告に対して、専門的見地からの的確なアドバイスをいただく等活発な議論の場とするとともに、最新鋭の1500級ガスタービンを採用し、CO₂排出量の少ない新名古屋火力発電所8号系

列の見学とあわせて実施します。

今後とも、環境専門部会の場を通じて大学関係者との意見交換を活発に行い、当社研究開発の成果を一層充実させていきたいと考えています。



環境専門部会開催状況

国際会議ICLPにおいてYoung Scientist Awardを受賞

平成20年6月にスウェーデンで開催された国際会議ICLP(International Conference on Lightning Protection: 雷防護に関する国際会議)において、若手優秀論文発表賞(Young Scientist Award)を、当社電力技術研究所電力ネットワークグループの吉田主任が受賞しました。

吉田主任は、落雷時に変電所の低圧制御回路に発生するサージ(急峻波)の実測と、その侵入メカニズムに関する検討をまとめた論文「Measurement of Surge Voltage on Low-Voltage Control Circuits in Substations」を発表し、その研究内容とプレゼンテーションが評価され、今回の受賞となりました。

ICLPは1951年に始まった歴史ある国際会議であり、Young Scientist Awardの受賞は当社初であります。



Young Scientist Awardを受賞した
吉田主任



ICLPでの発表の様子